

第15回

ぐんま高次脳機能障害

リハビリテーション講習会

開催日：2024年12月8日(日) 13:00受付、13:30開演

会場：群馬県社会福祉総合センター 8階

対象：当事者・家族・一般・専門職 (150名限定)

*この講演会は一般社団法人日本損害保険協会の助成を受けて実施致します。

あらためて高次脳機能障害を学ぶ ～ここを見逃さないで！～

1. 基調講演

(仮題)

『あらためて高次脳機能障害を学ぶ』

わたなべ しゅう

渡邊 修 先生

(東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 教授)

2. 発表・対談

『群馬県連携医療機関(高次脳機能障害)について』

医療法人中沢会 上毛病院 担当者・ほか

『発症後の過ごし方と支援』

宮永 和夫 先生 と家族の対談

(南魚沼市立ゆきぐに大和病院精神科医、精神保健指定医、日本老年精神医学会専門医)

感染状況により会場聴講は中止し、オンデマンド配信などに変更する場合がございます。
お申込み、聴講方法の詳細は裏面をご覧ください。申込み〆切2024年11月20日



■主催：ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

■後援：群馬県 上毛新聞社 群馬県医療ソーシャルワーカー協会

群馬県精神保健福祉士会 高次脳機能障害者と家族と支援者の会 NPO法人ノーサイド

◆お申込みは電話またはオンラインで◆

【申込み〆切 11月20日(水)

NPO法人 ノーサイド 電話

★電話でお申込みの方



080-3419-6233

★ノーサイドのホームページからお申込みの方



・事前のご相談、ご質問がありましたら お気軽にお申し出ください

・12月8日(日)、会場聴講にて講習会開催 ※感染状況により、会場聴講は中止の場合もございます

会場：群馬県社会福祉総合センター 8階 大ホール

前橋市新前橋町13-12 (13:00～受付)

<https://www.npo-noside.com/>

会場までのアクセス



★講師ご紹介

【渡邊 修 先生】 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科教授)

■経歴

- 1985年03月 浜松医科大学医学部 卒業
- 1993年04月 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション科 教室助手
東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 勤務
- 1993年12月 厚生省義肢装具等適合判定医師免許取得
- 1995年10月 スウェーデン カロリンスカ病院
臨床神経生理学部門勤務 研究生
- 2000年07月 神奈川リハビリテーション病院 リハ医学科勤務
- 2004年04月 東京都立保健科学大学 教授
東京都調布市で高次脳機能障害者とその家族、ボランティアで運営するグループ
「東京レインボー倶楽部」を立ち上げ地域でのリハビリテーションの場をつくる
- 2005年04月 首都大学東京 教授
- 2012年04月 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長
- 2013年01月 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 教授就任
患者とその家族のケアを最優先に診療に携わるとともに
全国各地で講演を行なうなど、高次脳機能障害研究と支援の第一人者



■専門分野

高次脳機能障害のリハビリテーション、脳外傷のリハビリテーション

■主な学会活動等

日本安全運転医療学会理事長、日本交通科学学会理事、東京都高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会委員長、国立障害者リハビリテーションセンター高次脳機能障害情報・支援運営委員会委員、特定非営利活動法人 東京高次脳機能障害協議会 (TKK) 顧問

【宮永 和夫 先生】 (南魚沼市立ゆきぐに大和病院精神科医、医療法人中沢会上毛病院 特別外来)

精神保健指定医、精神保健判定医(審判員) 日本老年精神医学会指導医・専門医、NPO法人ノーサイド顧問

■専門分野 若年認知症、高次脳機能障害、大人の発達障害

認知症や高次脳機能障害などの器質精神障害の臨床に関わり、医療と共に生活の支援の必要性を提唱
群馬県連携医療機関(高次脳機能障害)である上毛病院でも診療に携わっております